クックフードル取付説明書（施工編）

RZ90

取り付け方法　（取り付けを始める前に、裏面掲載の付属品を確認してください。）

1 取り付け前の確認

（1）取り付け壁面の確認
※取り付け壁面は、製品を支える強度が必要です。製品の重量を支持できる丈夫な場所に設置してください。（製品重量：２６Ｋｇ）

1．積層板張りの場合
板厚が12mm以上の場合は直接取り付けてください。板厚が12mm以下の場合は、壁に補強材を埋め込んでください。
注）積層板張りの場合は、必ずフード本体と取り付け壁面の間に、9mm以上の不燃板を取り付けてください。

2．コンクリート・レンガ壁の場合
あらかじめ補強材を壁に埋め込んでおくか、付属のアンカープラグをご使用ください。

3．ＧＬ壁の場合
本体の取り付け位置にφ150mm 程の穴を開け、その穴にモルタルを積め込み平ゴテにて表面を石膏ボード面に仕上げ、翌日以降に付属のアンカープラグを使用して取り付けてください。

4．土壁の場合
補強材をあらかじめ柱などに固定し埋め込んでください。

（2）排気ダクト管の確認

1．上方排気
フード本体の上（天井裏）に、φ150mm のステンレス、又は、スパイラル管がきているか確認ください。（図1）

2．後方排気
フード本体の中心の壁面に、φ150mm のステンレス、又は、スパイラル管がきているか確認ください。（図1）
※不燃板をフード本体の裏側（壁面）に取り付ける事により、そのスキ間にタイルを差し込むようにして貼れば、タイル工事が容易にできます。（図8）

（3）電源コンセントの確認

1．コンセントは、アース付3芯コンセントをご使用ください。（図2）
2．コンセントは非常時にプラグを抜く事ができるように、本体の外側に設置してください。（図3）

図1

図2　電源コンセント（3芯）

図3

2 製品の取り付け準備と確認

（1）製品の取り付け位置の確認
※天井高及び本体取り付け位置を確認し、排気ダクト管の長さを算出します。

上方排気設置例（図4）
※排気ダクト管は、φ150mm のステンレス又は、スパイラル管をご使用ください。

1．天井高を確認する。（A寸法）

2．フード本体の下端寸法を決定する。
右図のように、レンジ上面の高さが860mm の場合で、その上からフード下端までの寸法を、消防法の取り決めによる800mm 離して、フード本体を取り付けるとすると、その寸法の合計がフード下端寸法:1660mm となります。

3．フード上端寸法を算出する。
前項で、フード下端寸法が決まったら、その寸法に、フード本体の高さ寸法:440mm を加え、フード上端寸法:2100mm を算出する。

4．フード上端から天井面までの寸法（B寸法）を算出し、排気ダクト管の長さ（C寸法）を決定する。
下の表は、フード上端寸法:2100mm の場合の、天井高（A寸法）と、フード上端から天井面までの寸法（B寸法）及び、排気ダクト管の長さ（C寸法）を算出したものです。ご参考ください。

単位：mm

A寸法（天井高）	B寸法	C寸法（ダクト管の長さ）
2,400	250	285
2,450	300	335
2,500	350	385

注）フード本体上端から上へ、50mm 排気接続アダプターが出ていますので、B寸法は、天井高（A寸法）から、フード上端寸法+50mm を引いた寸法となります。
注）排気ダクト管の長さ（C寸法）は、天井裏へ70mm 差し込んだ場合の寸法です。

後方排気設置例
※排気ダクト管は、φ150mm のステンレス又は、スパイラル管をご使用ください。

1．フード本体の下端寸法を決定する。
上方排気にならって決定してください。
2．壁厚を確認して、排気ダクト管の長さを算出してください。（図5）

※壁厚＝200mm、不燃板の厚＝9mm の場合のダクト管の長さは、下記の通りです。
（200＋9+30）− 35＝ 204　よってダクト管の長さ 204mm となります。
※後方排気を行う場合は、L型ダクト（別売部品）が必要です。

（2）飾り筒の調整範囲の確認（図6）
※付属の飾り筒には、上部と下部があり上部をスライドさせることで、フード本体の高さ位置を調整する事ができます。

1．飾り筒の取り付けは、フード本体を壁に固定してから取り付けます。

2．付属の飾り筒の高さは上、下部共に 250mm で、飾り筒を設置するのに 5mm のクリアランスが必要です。よって、フード上端から天井面までの（B寸法）は、最低255mm 必要となります。
上部飾り筒の取り付け位置を調整する事により、最大480mm までの調整が可能です。したがって、フード上端寸法が 2100mm の場合、付属の上下部飾り筒を使用すれば天井高（A寸法）は、最大 2580mm まで調整可能となります。又、上記以上に天井高（A寸法）が高い場合は、別売部品の上部飾り筒：ＴＲＵ（H＝370mm）をご利用ください。その場合天井高（A寸法）は、最大 2700mmまで調整可能となります。

3．天井高が低い場合は、付属の飾り筒の下部のみを使用して設置する事も可能です。フードの上端寸法が2100mmの場合、天井高（A寸法）は、2355mmとなります。この時飾り筒の上端、と天井面との間に5mmの隙間（クリアランス）が生じますのでご了承下さい。
又、上記以上に天井高（A寸法）が低い場合は、別売部品の下部飾り筒：TRS（H=150mm）をご利用下さい。その場合天井高（A寸法）は、2355mmとなります。

図4

図5

図6

3 製品の取り付け準備

（1）スミ出し
1．本体の中心位置を出す。
2．天井高及び使用される方の身長を考えて、本体下端位置をレンジ上面より800mm以上に設定して下さい。
3．天井面（後方排気の場合は壁面）に排気ダクト管を通す穴の中心を出す。(不燃板の厚みも加えて、壁面からの寸法を出す。)

（2）天井面、壁面の穴開け
1．天井面（後方排気の場合は壁面）に排気ダクト管を通す穴（φ160mm）を開けます。（図10）

（3）本体仮止め用ねじの取り付け
1．本体仮止めねじ（φ4×30）を所定の位置に取り付けます。本体仮止めねじは、壁面から10mmまで締め付けてください。（図7）

（4）不燃板の取り付け
1．消防法の取り決めにより木造壁には、フード本体に接する壁面に 9mm 以上の不燃板を取り付け、その上にフード本体を取り付けます。（図8）
2．不燃板の寸法は、フード本体（外寸）より、15mm 程小さく作成します。（図9）
3．不燃板の厚みは 9mm 以上とし、タイルの厚みも考慮してください。
※フード本体取り付け後に、タイル工事をする場合、このインテリアフードが特殊な型状の為、非常にタイル工事が困難となります。
フード本体（外寸）より 15mm 程小さい不燃板を、フード本体の裏側（壁面）に取り付ける事により、その隙間にタイルを差し込むようにして貼ればタイル工事が容易にできます。

（5）飾り筒固定金具の取り付け
1．飾り筒固定金具の取り付けは、本体の中心と金具の中心をあわせて、付属のねじ（φ4×30）で壁面に固定してください。（図10）
図のように飾り筒固定金具の上端を、天井面にぴったりとつけて固定すれば、上部飾り筒上端と天井面との隙間を空ける事なく取り付ける事が出来ます。

図7

図8

図9　※不燃板寸法図

図10

4 本体及び飾り筒の取り付け

上方排気の場合

（1）本体の取り付け
1．事前に取り付けた本体仮止めねじを、本体の仮止め用だるま穴に掛けて取り付けます。（図11）
2．付属のねじ（φ４×30）2本にて、本体を固定します。仮止めねじもしっかりと締め付けてください。（図11）
3．付属品の排気接続アダプターを本体に取り付けてください。付属のねじ（M４×10）２本で取り付けます。（図12）
4．パイプアダプターを排気接続アダプターに取り付けます。（左右側に4箇所固定して下さい）取り付けたパイプアダプターの上に、排気目隠しアダプターをのせて上から付属のねじ（M４×10）２本にて固定します。（図12）
注）この時、パイプアダプターの取り付け方向に注意して取り付けください。

図11

（2）排気ダクト管の接続
1．φ150mm のダクト管（ステンレス又は、スパイラル管）の先端を、天井面のダクト穴に通してから本体のパイプアダプターの接続口までダクト管をおろして接続し、アルミテープで固定してください。

（3）飾り筒の取り付け
1．上下部飾り筒を重ね合わせて本体の所定の位置へ設置し、先に下部飾り筒を本体に固定します。（図13）
2．電源コードを飾り筒の外へ取り出します。（図14）
※飾り筒の上下２ヶ所に取り出し口がありますので、そこから取り出してください。
3．上部飾り筒をスライドさせ、事前に取り付けた上部飾り筒固定金具に筒の外側から付属のねじ（M４×10）２本にて固定してください。（図14）
4．上部飾り筒と下部飾り筒との固定をしてください。
※下部飾り筒の筒固定用穴と上部飾り筒の筒固定用スリットとを付属のねじ（φ４×10）２本で固定してください。（図14）

（4）本体の最終固定及び、付属品の取り付け
1．本体の最終固定を付属のねじ（φ４×30）にて行なってください。（図15）
2．油受け、グリスフィルターを取り付けてください。（図16）

図12

後方排気の場合
※作業を行う前に、別売部品の後方ダクトを用意してください。後方ダクトにパイプアダプターを取り付けてください。（図17）
付属のねじ（M４×10）2本で固定します。この時、パイプアダプターの取り付け方向に注意して取り付けください。

（1）本体の取り付け
1．上方排気の場合と同じ要領で行ってください。

（2）排気ダクト管の接続
1．付属品の排気接続アダプターを本体に取り付けます。付属のねじ（M４×10）２本で取り付けます。（図18）
2．取り付けた排気接続アダプターに、前項で用意したL型ダクトを付属のねじ（M４×10）４本にて固定します。（図18）
3．φ150mm のダクト管（ステンレス又は、スパイラル管）の先端を、壁面のダクト穴に通し、本体のパイプアダプターの接続口と接続し、アルミテープで固定してください。（図18）

（3）飾り筒の取り付け
1．上方排気の場合と同じ要領で行ってください。

（4）本体の最終固定及び、付属品の取り付け
1．上方排気の場合と同じ要領で行ってください。

図13

①右側（左側でも可）の、差し込み用ツメを差し込み溝に差し込みます。
②本体の筒固定穴に取り付いているネジ（M4×10）で、飾り筒の外側から取り付けます。
③飾り筒を、奥（壁側）に押し込みます。
④③と同時に差し込み用ツメを、差し込み溝に差し込みます。
⑤本体の筒固定穴に取り付いているネジ（M4×10）で、飾り筒の外側から取り付けます。
(差し込み溝は、少しきつめに出来ておりますので、ツメを差し込む時は確実に差し込んでください。

図15　図16

油受けを少し傾けてはめ込み、所定の位置までスライドさせて取り付けます。
※取り外す場合は、逆の要領でおこなってください。

図14　図17

図18

5 試運転

※運転時にファンの中に手や物を入れないでください。怪我・故障の恐れがあります。

（1）本体の操作を「取扱説明書」[ご使用のしかた]に従って正常に作動するか確認して下さい。
※電動シャッターを取り付けた場合、シャッターが開いてから運転を開始します。
その為、スイッチを入れてから約2～3秒後にファンが回転し始めますが故障ではありません。
（2）運転時、異常な騒音や振動が無いことを確認して下さい。
（3）屋外の排気口より、排気されているか確認して下さい。
（4）弊社製の排気電動シャッターを取り付けた場合は、本体スイッチと連動し開閉しているか確認して下さい。
（5）弊社製の給気電動シャッターを取り付けた場合は、本体スイッチと連動して開閉し、下部飾り筒のスリットより給気されているか確認して下さい。
（6）他社製の給気電動シャッターを取り付けた場合は、本体スイッチと連動し開閉しているか確認して下さい。
（7）取付上、施工上に発生した不具合でメンテナンスを依頼される場合、保障期間内であっても有料となりますのでご承認下さい。

※上記作業が終わりましたら、この取付説明書は必ずお客様にお渡し下さい。

クックフードル取付説明書（安全編）

安全上のご注意（必ずお守りください）

■この説明書は安全上、特に注意していただきたい内容についてとりあげたものです。この[安全上のご注意]をよくお読みのうえ製品を取り付けてください。
■具体的な取付方法については、取付説明書（施工編）をご覧になってください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付けて、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警 告：人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注 意：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- ⃠：このような絵表示は、してはいけない【禁止】内容です。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
- ❗：この絵表示は、必ず実行していただく【強制】内容です。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

絵表示の例	
	：左図の場合は、“分解禁止”が描かれています。
	：左図の場合は、“電源プラグをコンセントから抜いてください”が描かれています。

⚠ 警 告

●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に本体、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けること。
漏電した場合、発火したり感電することがあります。
取付注意

●効率よく排気させるには、空気の取り入れ口（給気口）を設けること。とくに密閉された厨房には、ø150㎜以上の給気口を用意してください。（寒冷地では、電動シャッター付給気扇をご使用ください。）

取付注意

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないこと。発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

分解・修理
改造禁止

⚠ 注 意

●本体の取り付け及び、部品の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行なうこと。落下によりけがをすることがあります。
取付注意

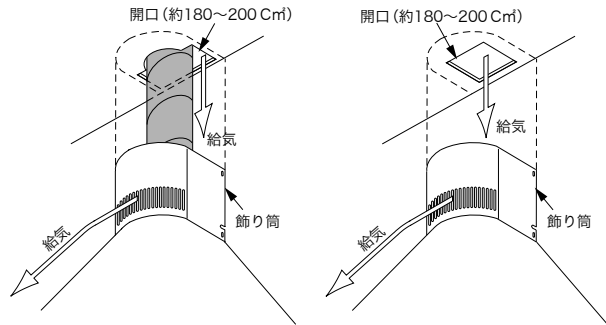
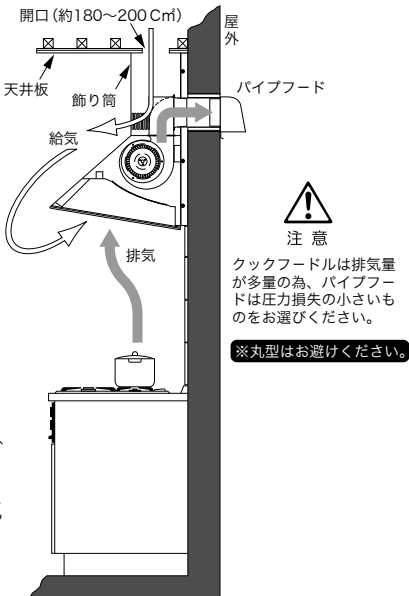
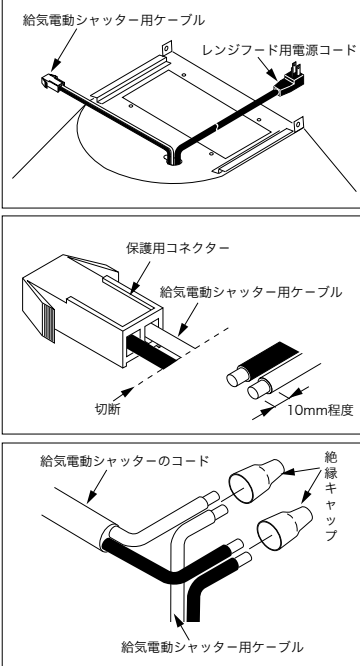
●交流100V以外では使用しないこと。火災や感電の原因となります。
使用禁止

●運転中は、羽根の中に指や物を絶対に入れないこと。けがをすることがあります。
接触禁止

●電気工事は必ず電気工事店に依頼すること。電気設備技術基準や内線規定に従って安全確実に行なうこと。
誤った電気工事は感電や火災の恐れがあります。
取付注意

効率よく換気させるためには給気を十分に！

在来構造等の場合

●飾り筒内の天井板を開口する事により、そこから天井裏の空気（自然の風）を取り入れ、レンジフードの下部飾り筒のスリットから室内に風（給気）を通すと効率よく換気できます。

●ＲＣ、ツーバイ構造等（高気密住宅）には、給気電動シャッターでの給気設備をお勧めします。その場合は、レンジフードの給気電動シャッター用ケーブルに接続してください。
（接続方法は、下記をご覧ください。）
※給気電動シャッター用ケーブルは全機種に装備されています。

給気電動シャッター用ケーブルの接続（他社製品の場合）

※排気用ファン（レンジフード）と給気電動シャッターを連動させるには、給気電動シャッター側のコードと、給気電動シャッター用ケーブルを接続してください。（接続方法は、下記の要領で行なってください。）

1．給気電動シャッターのコードと給気電動シャッター用ケーブルの接続
（1）給気電動シャッター用ケーブルの保護用コネクター側のケーブルを、ニッパ、ペンチ等で切断し、ケーブルの被覆をめくります。この時、ケーブルの被覆をめくる長さは、10mm程度にします。

（2）給気電動シャッターのコードと、給気電動シャッター用ケーブルとを絶縁キャップで、圧着して接続します。

注：給気電動シャッターのコード及び、給気電動シャッター用ケーブルの被覆をめくる長さは、絶縁キャップよりはみ出ない様にしてください。

2．試運転
※レンジフードの電源コードを仮設コンセントに差し込んで試運転を行い、下記の内容を確認ください。
（1）レンジフードスイッチの ON/OFFボタンを押して、レンジフードファン（排気ファン）と給気電動シャッターが連動して作動するか確認してください。

●レンジフードスイッチ（Ⅰ、Ⅱ、TOP）のどの位置でも、給気電動シャッターは作動します。又、給気電動シャッターは３Ａ以内のものをご使用ください。
●給気電動シャッター用ケーブルは、入力用電源コードではありませんので、給気電動シャッター以外には、ご使用にならないでください。負荷がかかり過ぎるとスイッチ本体が故障する危険があります。

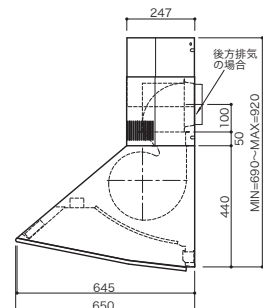
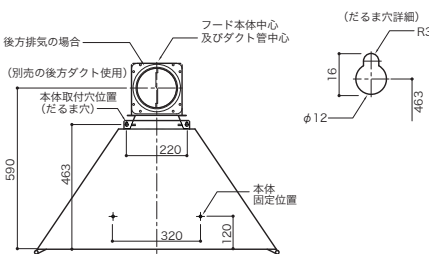
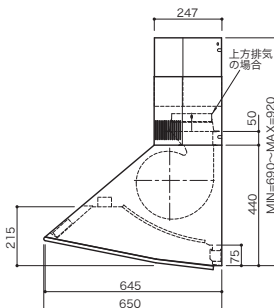
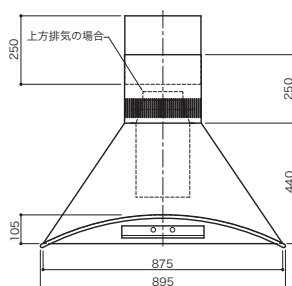
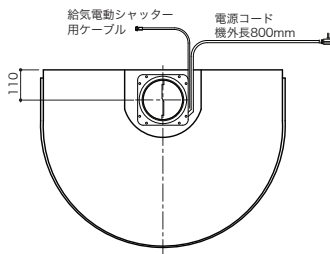
※弊社製品の場合は「給気電動シャッター」取付説明書の取付方法を参考にして接続してください。

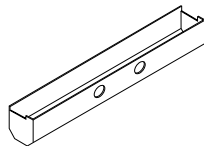
取付け時のご注意

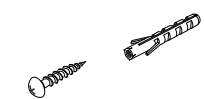
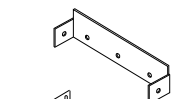
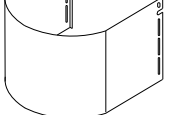
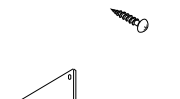
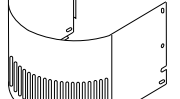
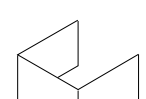
※排気工事をされる場合、建築基準法（同施工法）および消防法等の関連法規に合わせて施行ください。

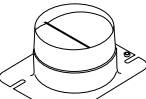
1．レンジフードの取り付けは、建物の金属部（壁内ラス網等）と接触しないように、十分注意して工事してください。なお、本体の埋込みは、絶対にやめてください。壁内のラス網に漏洩電流がある場合、本体に流れてきます。
2．取り付け高さは、ガスレンジの真上80Cm以上になるようにしてください。低すぎると、お台所仕事のさまたげになったり、高熱による故障の原因にもなります。
3．レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また横方向は50Cm以上離してください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。
4．ガスレンジ幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
5．非常に長いダクトあるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますのでご注意ください。
6．レンジフードの重量は約26Kgです。取り付け前に取付部の強度をよく確かめてください。取付部の強度が弱いと落下したり、振動の原因となりますので、補強工事をしたのちに製品を取り付けてください。
7．室温が40゜C以上になる場所、薬品を使う場所には取り付けないでください。
絶縁が悪くなり、感電する恐れがあります。またスイッチ部分やモーターなどがいたんだりすることがあります。
8．スイッチの改造等仕様を変更してのご使用はさけてください。
9．効率よく換気させるため、排気用ダクトの大きさ以上の空気取り入れ口を部屋の反対の位置に設けてください。とくに、寒冷地などの気密性の高い部屋で、自然排気型のストーブをご使用の時は、空気がストーブ排気口より逆流し危険な燃焼状態になる恐れがありますので、フード付きガラリなどにより、十分給気される配慮をしてください。
※当クックフードルは、給気電動シャッター用ケーブルがついております。
必要に応じてご使用ください。（具体的な接続方法については、取付説明書の“給気電動シャッター用ケーブルの接続”をご覧になってください。）
10．部屋の中央で料理される場合は、捕集しきれませんので、台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
11．取り付け後、天井、壁などに内装用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体に保護材を被せてください。

製 品 寸 法 図

後方排気の場合
（別売の後方ダクト使用）
フード本体中心
及びダクト管中心
本体取付穴位置
（だるま穴）
590
463
220
320
120
本体
固定位置
（だるま穴詳細）
R3
16
463
φ12

単位：mm

付 属 品

●油 受 け（1個）

●グリスフィルター（2枚）

●本体仮止めねじ
●本体固定ねじ
●本体最終固定ねじ
●上部飾り筒固定金具取付ねじ
（φ4×30×8本、アンカープラグ付）

●上部飾り筒固定金具（1個）

●上部飾り筒（1個）
（H=250 mm）

● 上部、下部飾り筒連結ねじ
（φ4×10×2本）

●下部飾り筒（1個）
（H=250 mm）

●排気目隠しアダプター（1個）

●上部飾り筒取付ねじ
●パイプアダプター取付ねじ
●排気接続アダプター取付ねじ
（M4×10×8本）

●パイプアダプター（1個）
（逆風防止シャッター付）

●排気接続アダプター（1個）